

2023年度（第14期）

## 事業報告

2023年4月 1日から  
2024年3月31日まで

日本バレーボール協会  
(Japan Volleyball Association)

<b>1. 事業方針・重点実施項目</b> .....	<b>4-5</b>
重点実施項目に対する取り組みの概要及び2023年度の課題と今後の目標	
<b>2. 競技力向上事業及び競技力向上に係る日本代表選手団国際大会派遣事業</b> .....	<b>6</b>
(1) 各カテゴリー日本代表チームの選手育成・強化事業	
(2) 競技活動を行う選手の競技・練習環境の整備、セカンドキャリアに関する啓発、情報発信	
(3) 将来性を有する選手の発掘及び育成強化事業	
(4) 競技力向上にかかわるバレーボール技術・戦術の調査研究及びスポーツ医科学の調査研究事業	
(5) 各カテゴリー日本代表選手団の国際大会派遣事業	
<b>3. 国際大会開催事業及び国際貢献・交流事業</b> .....	<b>14</b>
(1) 国際大会開催事業	
(2) 国際貢献・交流事業	
<b>4. 講習会開催事業、指導者、審判員等養成及び資格認定・登録事業</b> .....	<b>17</b>
(1) 指導者養成・育成事業	
(2) 審判員養成・育成事業	
<b>5. 全国大会等国内競技会開催事業</b> .....	<b>21</b>
<b>【バレーボール】</b>	
(1) 天皇杯・皇后杯全日本バレーボール選手権大会	
(2) 全日本小学生大会（男女・混合大会）	
(3) JOC カップ全国都道府県対抗中学大会	
(4) 全日本高等学校選手権大会	
(5) 秩父宮賜杯・秩父宮妃賜杯全日本大学選手権大会	
(6) 上記の各競技会に加え、JVA 主催、開催地都道府県協会等の主管により、以下の各種別全国大会を開催した。	
(7) 公益財団法人日本スポーツ協会（JSP0）との共催により、以下の大会を開催した。	
(8) 公益財団法人全国高等学校体育連盟との共催により、以下の大会を開催した。	
(9) 公益財団法人日本中学校体育連盟との共催により以下の大会を開催した。	
<b>【ビーチバレーボール】</b>	
(1) ジャパンビーチバレーボールツアー2024	
(2) 第78回国民スポーツ大会ビーチバレーボール種目	
(3) 日本選手権	
(4) その他国内主要大会	
<b>6. マーケティング事業</b> .....	<b>27</b>
<b>7. 用具、用品等の公認事業及びその他の公認物品販売事業</b> .....	<b>27</b>
(1) バレーボール用品・用具の公認・推薦事業	
(2) ルールブック販売事業	

8. V. LEAGUE 開催及び開催支援事業	27
9. 収益事業	28
(1) ファン向けサイトの運営事業	
(2) 肖像使用許諾事業	
(3) バレーボール関連グッズの販売事業	
10. その他	28
(1) 加盟団体との連携強化	
(2) JVA メンバー制度登録管理システム (Membership Registration System)	
(3) 競技者拡大活動	
(4) 競技の高潔性を保ちアンチ・ドーピングを遵守する。	

## 重点実施項目に対する取り組みの概要

- 1) 2024年パリオリンピック出場に向けて、男女インドア・ビーチ共に強化を継続する。特にインドアは、2023年に日本で開催するFIVBオリンピック予選を勝ち抜き男女共にオリンピック出場権を全力で獲得する。
  - ・ 男子日本代表はパリ五輪出場権を獲得。
  - ・ 女子日本代表は出場権を獲得することができなかった。2024年5～6月開催のVNLで決定。
  - ・ ビーチバレーボール男子・女子日本代表は、2024年6月開催のアジアコンチネンタルカップで決定。
- 2) 都道府県バレーボール協会との連携を強化し、問題・課題を共有した上で法人化に向けた財政基盤施策を構築する。
  - ・ 組織基盤改革プロジェクト実行計画に基づき、加盟団体の法人格取得に向けた財政施策や支援計画等について説明会を開催した。
  - ・ 加盟団体連携会議を定期的に開催した。
- 3) ブランディングの再構築を実施し、バレーボールの価値向上を図る。
  - ・ よりメッセージ性の強いブランドコミュニケーションの実現と商品化における日本代表キャラクター権利関係の問題を解消するため、手塚プロダクションとの契約を終了した。
  - ・ 代表ロゴと協会ロゴの統一化によるバレーボール界全体の連帯意識の構築を目的に、JVA/日本代表の新しいロゴとブランディングを2023年度中に開発し、2024年4月2日に記者会見という形で発表することを公表した。
- 4) 事務局役職員の計画的、定期的な人事異動、ローテーションを実施し、縦割り意識の改善と、加盟団体を含むバレーボール界の生産性向上を図る。
  - ・ 職員への分掌調査と面談を実施し、人事異動を行った。
  - ・ 働き方改革につながる施策（コアタイムフレックス制の導入、人事制度の再構築）を実行した。
  - ・ 2024年から再導入する人事評価制度について、職員への説明会と評価者への研修会を開催した。役職・等級毎のステップアップシートのトライアルと評価も終了し計画通り実施する。
  - ・ 国際大会や国内大会では、担当の事業本部が担っていることもあり縦割り意識すべてを改善するところまでは至っていないが、それぞれの事業に対して職員が協力する体制ができた。
- 5) 指導現場における暴力等根絶の実現に向け、体制強化と各種施策を推進する。
  - ・ 2023年2月より、ホームページ上で通報（通報フォーム）と窓口への相談の利用方法を分かりやすくしたことで多くの相談が寄せられるようになった。相談案件は、2023年1月～12月で137件、2024年1月～3月は32件、通報案件は、フォーム立ち上げの2023年2月～2024年4月1日現在で94件あった。  
(2022年度の相談件数は30件、通報件数はフォーム立ち上げ前のため把握できず)
  - ・ 3月25日に掲出した新聞広告やホームページの開設等により、「暴力撤廃アクション」キャンペーンを推進した。

- ・小学生、中学生、高校生の大会において、キャンペーンフラッグの掲出や開会式などにおける指導者代表による暴力撤廃宣言を実施し、国際大会においても男女日本代表チームが試合前にキャンペーンフラッグを囲んで写真撮影を行うなど、JVAが指導現場における暴力撤廃に強い姿勢で取り組んでいることを内外に示した。
- 6) JVA メンバー制度（登録）の見直しを行い、未登録者層（生涯スポーツ・愛好者含む）の登録促進と登録者へのサービス向上を図り、JVA メンバー制度の質を向上させ、バレーボールファミリーの「つながり」を確立する。
- ・組織基盤改革プロジェクトで、登録規程を含めた新たなメンバー制度について継続審議中。
- 7) 新型コロナウイルス感染症対策を講じ、事業に関わる方々の安全・安心を確保した上で、日本代表戦や全国大会をはじめとする、JVA 主催大会及び主管大会を開催しバレーボール活動の維持に努める。
- ・パリ五輪予選/ワールドカップバレーでは、女子の開幕試合や男子の開幕試合への高円宮妃殿下ならびに承子女王殿下の御臨席を仰ぎ、代表選手への励ましとともにそれぞれの試合において御声援いただいた。
  - ・天皇杯・皇后杯全日本選手権大会の男女決勝戦への御観戦ならびに表彰式、閉会式において高円宮妃殿下より直接の御言葉を頂戴した。
  - ・春の高校バレーでは女子決勝戦に承子女王殿下の御臨席を仰ぎ、御観戦いただいた。
  - ・OQT では、日本代表チームの人気とパリ五輪出場権獲得に注目が集まり、男女大会全14日間の日程で合計約136,000名が来場。コロナ後の国際大会としては、最多来場者数をマークした。テレビ中継でも他ジャンルと比較しても高い視聴率を上げた。天皇杯・皇后杯では、全5日間で約26,000名を超える来場者があり、国際大会と同様に高い注目を集めた。
  - ・VNL、パリ五輪予選/ワールドカップバレー、男子国際親善試合、女子紅白試合、天皇杯・皇后杯、全国大会等において、全て計画通り開催できた。

### 2023年度の課題と今後の目標

1. 予算策定から配分決定する経営判断プロセスと予算配分を実行できるシステムの構築と予算策定の共有化・目標の明確化により、各事業への適切な予算配分を実行するための財務委員会等の設置を検討する。
2. 限られた経営資源(予算・人材)で、優先度・重要度・費用対効果などの観点から、拡充・維持・縮小・廃止などを検討する。
3. 社会的課題(社会貢献活動、スポーツの地域移行、競技者・指導者拡大)へ向けてプロジェクトや委員会にて事業への落とし込みを実施していく。
4. 中期経営計画の実行計画策定と実現に向けた担当部署等の明確化を図る。
5. 組織改革を推進する上で財政基盤となる登録制度の改革を実行し、都道府県協会の法人化を加速させる。

<事業活動報告>

2. 競技力向上事業及び競技力向上に係る日本代表選手団国際大会派遣事業

(1) 各カテゴリー日本代表チームの選手育成・強化事業

【バレーボール】

1) 男子・女子日本代表チーム強化概要

2年目となる、男子、ブラン・フィリップ監督、女子、眞鍋政義監督体制のもと、2023年度最大の目標、パリオリンピック出場権の獲得に向けて強化を推進した。

■男子：国内合宿・NTCを中心に富山、沖縄にて強化合宿を実施、VNL、アジア選手権前に対外試合を実施した。

■女子：国内合宿・NTCを中心に薩摩川内、沖縄にて強化合宿を実施、オリンピック予選前に対外試合を実施した。

2) 男子・女子ユニバーシアード日本代表チーム強化合宿

コロナ禍により国際経験不足となっていたが、これを挽回すべく関係各所と連携し安心安全を担保しながら計画通りに国内合宿を実施し強化を推進した。

■男子：国内合宿・NTC 及び他で実施

事業名(期間)	場所	期間		人数	
		泊	日	役員	選手
男子ユニバ日本代表海外遠征(FRA)(6/26-7/7)	FRA	11泊	12日	6名	12名
男子ユニバ日本代表合宿(ジェイテクト・ウルフドッグス・NTC)(7/15-7/24)	愛知・東京	9泊	10日	6名	12名
男子ユニバ東西合宿(NTC)(11/2-11/6)	NTC	4泊	5日	8名	28名
男子ユニバ大学選抜強化合宿(NTC)(2/2-2/7)	NTC	8泊	9日	6名	28名

■女子：国内合宿・NTC 及び他で実施

事業名(期間)	場所	期間		人数	
		泊	日	役員	選手
女子ユニバ日本代表合宿(5/23-5/28)	NTC	4泊	5日	10名	15名
女子ユニバ日本代表選考合宿(6/25-6/29)	NTC	5泊	5日	7名	16名
女子ユニバ日本代表選考合宿(7/19-7/25)	NTC	7泊	7日	9名	12名
FIUS ワールドユニバーシティゲームズ(7/25-8/8)	成都	14泊	15日	6名	12名
女子ユニバ日本代表合宿(2/24-2/28)	NTC	5泊	6日	12名	24名

(注) ユニバーシアードチームとは、主に大学生を中心に構成される日本の代表チーム

### 3) 男子・女子 U21 日本代表チーム強化合宿

コロナ禍により国際経験不足となっていたが、これを挽回すべく関係各所と連携し安心安全を担保しながら計画通りに国内合宿を実施し強化を推進した。

#### ■男子：国内合宿・NTC 及び他で実施

事業名（期間）	場所	期間		人数	
		泊	日	役員	選手
男子 U20 日本代表合宿（NTC）（1/15-1/20）	NTC	5 泊	6 日	6 名	18 名
男子 U20 日本代表合宿（JTEKT）（2/22-2/25）	JTEKT	3 泊	4 日	8 名	14 名
男子 U20 日本代表合宿（パナソニック）（3/7-3/11）	パナソニック	4 泊	5 日	6 名	18 名

#### ■女子：国内合宿・NTC 及び他で実施

事業名（期間）	場所	期間		人数	
		泊	日	役員	選手
女子 U21 日本代表合宿（5 月）	NTC	4 泊	5 日	11 名	22 名
女子 U21 日本代表合宿（6 月）	茨城	4 泊	5 日	6 名	19 名
女子 U21 日本代表合宿（7 月）	山形	6 泊	7 日	11 名	16 名
女子 U21 日本代表合宿（8 月）	NTC	6 泊	6 日	5 名	12 名
女子 U20 日本代表合宿（11 月）	NTC	4 泊	5 日	8 名	21 名
女子 U20 日本代表合宿（2 月）	NTC	4 泊	5 日	11 名	21 名
女子 U20 日本代表合宿（3 月）	佐賀	4 泊	5 日	7 名	16 名

（注）男子・女子 U21 日本代表チームとは、2003 年 1 月 1 日以降に出生した選手で構成される日本の代表チーム

### 4) 男子・女子 U19 日本代表チーム強化合宿

コロナ禍により国際経験不足となっていたが、これを挽回すべく関係各所と連携し安心安全を担保しながら計画通りに国内合宿を実施し強化を推進した。

#### ■男子：国内合宿・NTC 及び他で実施

事業名（期間）	場所	期間		人数	
		泊	日	役員	選手
男子 U19 日本代表合宿（名古屋）（4/23-4/27）	名古屋	4 泊	5 日	7 名	18 名
男子 U19 日本代表合宿（堺ブレイザーズ）（7/2-7/6）	堺	4 泊	5 日	7 名	12 名
男子 U18 日本代表合宿（薩摩川内）（12/3-12/7）	鹿児島	4 泊	5 日	7 名	24 名
男子 U18 日本代表合宿（大阪）（2/13-2/16）	大阪	3 泊	4 日	7 名	24 名

男子 U18 日本代表合宿(和歌山) (3/20-3/24)	和歌山	4泊	5日	7名	18名
--------------------------------	-----	----	----	----	-----

■女子：国内合宿・NTC 及び他で実施

事業名（期間）	場所	期間		人数	
		泊	日	役員	選手
女子 U19 日本代表合宿（5月）	NTC	4泊	5日	11名	18名
女子 U19 日本代表合宿（6月）	佐賀	6泊	7日	6名	18名
女子 U19 日本代表合宿（7月）	神奈川	8泊	8日	6名	18名
女子 U18 日本代表合宿（11月）	NTC	4泊	5日	8名	17名
女子 U18 日本代表合宿（2月）	NTC	4泊	5日	11名	29名
女子 U18 日本代表合宿（3月）	神奈川	7泊	8日	4名	10名

（注）男子・女子 U19 日本代表チームとは、2005 年 1 月 1 日以降に出生した選手で構成される日本の代表チーム

5) 男子・女子 U16 日本代表チーム強化合宿

2024 年に開催予定の第 1 回 U17 世界選手権の予選となる第 1 回 U16 アジア選手権優勝に向け、中学校体育連盟他、関係各所と連携し、安心安全を担保しながら計画通りに国内合宿を実施し、第 1 回大会参加へ向けて強化を推進した。

■男子：国内合宿・NTC 及び他で実施

事業名（期間）	場所	期間		人数	
		泊	日	役員	選手
男子 U16 日本代表合宿（愛知）（4/20-4/23）	愛知	3泊	4日	4名	18名
男子 U16 日本代表合宿（NTC）（5/18-5/21）	NTC	3泊	4日	3名	12名

■女子：国内合宿・NTC 及び他で実施

事業名（期間）	場所	期間		人数	
		泊	日	役員	選手
女子 U16 日本代表合宿（4月）	兵庫	4泊	5日	5名	17名
女子 U16 日本代表合宿（5月）	愛知	4泊	5日	5名	21名
女子 U16 日本代表合宿（6月）	佐賀	5泊	6日	6名	12名
女子 U17 日本代表合宿（11月）	NTC	4泊	5日	6名	18名
女子 U17 日本代表合宿（3月）	兵庫	7泊	8日	4名	14名

（注）男子・女子 U16 日本代表チームとは、2008 年 1 月 1 日以降に出生した選手で構成される日本の代表チーム



## 【ビーチバレーボール】

### 1) ビーチバレーボール男女日本代表チーム

男子は、目標として掲げていた大会での結果を残せなかったものの、コンチネンタルカップ（アジア大陸予選）で五輪出場権を獲得するために、成長株である若手有望選手の強化に特化し、国際大会への派遣と海外合宿を実施した。

女子は、オリンピックランキングによる出場権獲得も見据え、2022年度に引き続きビーチプロツアーで最もカテゴリーが高い ELITE16 に出場可能なエントリーポイントを持つ女子日本代表チームを強化特化チームと位置付けて国際大会への派遣を実施した。

今年度最も重要な大会である FIVB ビーチバレーボール世界選手権大会においては、2007年以來となる女子2チームの出場権を獲得し、アジア競技大会においては2大会連続となる銀メダルを獲得するなど躍進した。

### 2) アンダーカテゴリー強化事業

ビーチバレーボールアンダーカテゴリー強化を担う機関として Beach Elite Academy を昨年度から継続して実施した。将来オリンピックをはじめとする国際競技大会で活躍できる選手を継続して強化・育成をすることを目的とし、スポーツ医科学も活用してトップアスリートとして必要な「競技力」「身体能力」「知的能力」の向上に向けて継続的なサポートを行った。

活動の一環として、アンダーカテゴリー事業としては初めてスロベニアへの海外合宿を実施した。

派遣事業に関しては U21 アジア選手権大会において男子2チーム、女子1チームを派遣したが、世界選手権大会への出場権を獲得することができなかった。

#### <強化合宿>

- 6/26-7/7 TACHIHI BEACH・大森東水辺スポーツ広場ビーチバレー場  
石手川緑地ビーチバレーコート
- 10/6-9 産業能率大学
- 12/15-17 ひめっこビーチバレーコート
- 2/19-27 スロベニア（リュブリャナ）

## (2) 競技活動を行う選手の競技・練習環境の整備、セカンドキャリアに関する啓発、情報発信

### 1) 味の素ナショナルトレーニングセンター バレーボール専用コート設備更新

- ① 照明設備 LED 化を実施した。
- ② 映像システム改修を継続実施中。

③ 備品のメンテナンスと管理情報更新作業含め継続実施中。

2) ビーチバレーボール競技別強化拠点（川崎マリエン）設備更新

- ① 情報収集に関わる基盤整備により、海外チームの試合映像等を分析できたことで、選手・スタッフとともに強化戦略を立てることができた。
- ② 設備備品（トレーニング機材）のメンテナンスを定期的に実施した。
- ③ 地域連携による拠点の充実を図った。
- ④ 医科学情報トレーニング分野での人的リソース配備を実施した。

(3) 将来性を有する選手の発掘及び育成強化事業

1) 全国小学生・中学生・高校生長身選手の発掘育成事業

将来有望な長身選手の発掘、育成、強化を目的に、公募および推薦によるオーディションを行い、選抜した有望選手の育成強化合宿を実施した。また、小学生・中学生・高校生までの有望選手のリストをデータ化し、選手情報を定期的に強化委員会等で共有している。また、年1回各カテゴリー（中学生・高校生）別の有望選手で編成された選抜チームで海外チームとの国際試合を行い、国際的に通用する選手の強化・育成を行った。

■小学生エリートアカデミーオーディション合宿

事業名（期間）	場所	期間		人数	
		泊	日	役員	選手
小学生エリートアカデミーオーディション合宿 (8/11～13)	文京区立第九中学校 (東京都文京区)	2泊	3日	15名	25名(男子)
					31名(女子)

■小学生・中学生エリートアカデミー年末合宿

事業名（期間）	場所	期間		人数	
		泊	日	役員	選手
小学生・中学生エリートアカデミー年末合宿 (12/25～28)	田辺スポーツパーク (和歌山県田辺市)	3泊	4日	16名	14名(男子小学生)
					16名(女子小学生)
					10名(男子中学生)
					14名(女子中学生)

■全国中学バレーボール選抜強化(一次)合宿

事業名（期間）	場所	期間		人数	
		泊	日	役員	選手
全国中学選抜強化(一次)合宿 (10/12～15)	・オガールアリーナ ・紫波町総合体育館	3泊	4日	20名	30名(男子)
					30名(女子)

■全国中学バレーボール選抜強化(二次)合宿

事業名 (期間)	場所	期間		人数	
		泊	日	役員	選手
全国中学選抜強化(二次)合宿 (1/11~14)	NTC	3泊	4日	11名	12名(男子)
					12名(女子)

■中学選抜海外遠征

事業名 (期間)	場所	期間		人数	
		泊	日	役員	選手
全国中学選抜海外遠征 (2/18~27)	イタリア ボルデノーネ	9泊	10日	10名	12名(男子)
					12名(女子)

■全国中学生長身者合宿

事業名 (期間)	場所	期間		人数	
		泊	日	役員	選手
全国中学生長身選手発掘育成合宿 (2/8~11)	NTC	3泊	4日	30名	40名(男子)
					40名(女子)

■全国高校選抜候補一次合宿(全国9ブロック高校生長身者合宿)

事業名 (期間)	場所	期間		人数	
		泊	日	役員	選手
北海道ブロック合宿 (8/18~20)	深川市総合体育館	2泊	3日	22名	24名(男子)
					24名(女子)
東北ブロック合宿 (9/15~17)	大崎市三本木総合体育館 古川高等学校体育館	2泊	3日	15名	15名(男子)
					15名(女子)
関東ブロック合宿 (9/1~3)	栃木県立県北体育館	2泊	3日	16名	19名(男子)
					25名(女子)
北信越ブロック合宿 (9/1~3)	いしかわ総合 スポーツセンター	2泊	3日	15名	15名(男子)
					16名(女子)
東海ブロック合宿 (8/25~27)	三重県西野公園体育館 AGF 鈴鹿体育館	2泊	3日	16名	15名(男子)
					12名(女子)
近畿ブロック合宿 (8/28~30)	パナソニックアリーナ	2泊	3日	23名	18名(男子)
					18名(女子)
中国ブロック合宿 (8/25~27)	猫田記念体育館	2泊	3日	14名	16名(男子)
					18名(女子)
四国ブロック合宿 (8/27~29)	坂出市立体育館	2泊	3日	12名	12名(男子)
					14名(女子)
九州ブロック合宿 (8/27~29)	レゾナック武道 スポーツセンター	2泊	3日	16名	29名(男子)
					25名(女子)

■高校選抜候補第二次合宿・全日本ジュニアオールスタードリームマッチ

・日時：2024年2月17日(金)～19日(日)2泊3日(予定)

事業名(期間)	場所	期間		人数	
		泊	日	役員	選手
高校選抜候補二次合宿 全日本ジュニアオールスタード リームマッチ(2/17～19)	パナソニック アリーナ	2泊	3日	24名	52名(男子)
					52名(女子)

(4) 競技力向上にかかわるバレーボール技術・戦術の調査研究及びスポーツ医・科学の調査研究事業

- 1) 日本代表選手の科学的測定評価、測定結果に基づくトレーニング処方 of 立案とサポートした。
  - ① 男女日本代表選手バイオメカニクス測定(2023年6月)
- 2) 日本代表チームとの対戦が想定される外国チームの戦力を掌握した。
  - ① 男女VNL大会(2023年5月～7月)、OQT・アジア選手権(2023年8月～9月)において外国チームのアナリストチーム情報収集
- 3) トレーナーおよびアナリストの育成、教育を行って日本代表チームに派遣するとともに、日本代表チームが利用する機材およびデータの管理・運用をした。
  - ① アナリスト育成セミナー(2023年12月26～28日・参加者79名)
  - ② アナリストプレゼンテーションテスト(2024年3月・参加者8名)
  - ③ アンダーエイジカテゴリー日本代表選手体力測定(2023年10月～2024年3月)
- 4) 日本代表チームにドクターを派遣し、歯科・整形外科診断を中心に選手の健康維持、怪我防止及び傷害発生時の対処、薬剤を手配した。
  - ① 男女日本代表選手へのメディカルチェック
- 5) アンチ・ドーピングの啓発を含むスポーツ・インテグリティの向上を図った。
- 6) 感染症専門ドクターからの示唆を仰ぎ、感染症対策を十分に実施したうえで安心・安全なトレーニング環境を創った。
  - ① 医師やトレーナーによる帯同報告会(2023年12月16日・参加者26名)
  - ② 第14回スポーツ障害セミナー(2024年1月27日)
- 7) 日本代表チームの監督、スタッフとの連携を強化し、継続的な栄養サポートを実施した。また、アンダーエイジカテゴリーに対しては、指導者や保護者に対しても栄養教育を実施した。
  - ① 女子日本代表チームへの栄養講習会(2023年5月1日・NTC)
  - ② アンダーエイジカテゴリーへの栄養講習会

- ・女子U16 (2023年5月16日・オンライン)
- ・エリートアカデミーオーディション (2023年8月11日・東京)
- ・男女中学選抜 (2023年10月13~14日・岩手)
- ・男子ユニバ (2024年2月2日・NTC)
- ・全国中学生長身選手 (2024年2月9日・NTC)
- ・女子U18、U20 (2024年2月12日・NTC)

## (5) 各カテゴリー日本代表選手団の国際大会派遣事業

### 【バレーボール】

#### 1) 男子：

##### <日本代表>

・バレーボールネーションズリーグ 2023	3位		
Week 1		6/6-11	日本
Week 2		6/20-25	フランス
Week 3		7/4-9	フィリピン
FINAL		7/19-23	ポーランド
・第22回アジア男子選手権大会	優勝	8/19-26	イラン
・第19回アジア競技大会	3位	9/19-26	中国
・FIVB パリ五輪予選/ワールドカップバレー2023	出場権獲得	9/30-10/8	日本

##### <アンダーエイジカテゴリー (年代別日本代表) >

・FISU ワールドユニバーシティゲームズ	11位	7/28-8/8	中国
・第18回男子U19世界選手権大会	11位	8/2-11	アルゼンチン
・第1回男子U16アジア選手権大会	5位	7/22-29	ウズベキスタン

#### 2) 女子：

##### <日本代表>

・バレーボールネーションズリーグ 2023	7位		
Week 1		5/30-6/4	日本
Week 2		6/13-18	ブラジル
Week 3		7/4-9	タイ
FINAL		7/12-16	アメリカ
・第22回女子アジア選手権大会	3位	8/30-9/6	タイ
・FIVB パリ五輪予選/ワールドカップバレー2023	3位	9/16-24	日本
・第19回アジア競技大会	2位	9/28-10/6	中国

<アンダーエイジカテゴリー（年代別日本代表）>

・FISU ワールドユニバーシティゲームズ	2位	7/29-8/7	中国
・第18回女子U19世界選手権大会	4位	8/1-11	ロシア/ハンガリー
・第22回女子U21世界選手権大会	4位	8/17-26	メキシコ
・第1回女子U16アジア選手権大会	優勝	7/1~8	中国

【ビーチバレーボール】

1) ビーチバレーボール男女日本代表チーム

①19回アジア競技大会（2022/杭州）

9/23-10/8	中国・杭州	2位	石井美樹・溝江明香ペア
		5位	長谷川暁子・坂口由里香ペア
		9位	高橋巧・上場雄也ペア

②FIVB ビーチバレーボール世界選手権大会

10/6-15	メキシコ・トラスカラ	33位	石井美樹・溝江明香ペア
		37位	長谷川暁子・坂口由里香ペア

③AVC アジアツアー

4/17-17	タイ・サミラ	2位	長谷川暁子・坂口由里香ペア
8/17-20	台湾・ポンフー	1位	石井美樹・溝江明香ペア

④AVC アジア選手権大会

6/23-26	中国・平潭島	4位	石井美樹・溝江明香ペア
---------	--------	----	-------------

⑤2024 コンチネンタルカップ パリオリンピックアジア大陸予選 第1フェーズ

8/31-9/1	中国・南京市	1位	長谷川暁子・橋本涼加ペア 坂口由里香・村上礼華ペア
		2位	古田史郎・黒川魁ペア 福嶋晃介・黒川寛輝 <sup>テ</sup> イランペア

2) ビーチバレーボール年代別男女日本代表チーム

①2023 ビーチバレーボールU21 アジア選手権大会

7/13-16	タイ・ローイエット	17位	黒澤孝太・溝端拓真ペア
		17位	稲垣喜一・柏谷玲央ペア
		13位	森川仁湖・矢田和香ペア

3. 国際大会開催事業及び国際貢献・交流事業

(1) 国際大会開催事業

1) 2023 男子バレーボール国際親善試合 日本 対 中国（富山大会）

- ・会場：富山県西部体育センター（富山県砺波市）
- ・日程：5月19日（金）、20日（土）
- ・結果：5月19日（金） 日本 5-0 中国（25-19, 25-20, 25-17, 25-17, 15-4）  
5月20日（土） 日本 3-1 中国（25-21, 23-25, 25-23, 25-15）

## 2) バレーボールネーションズリーグ 2023 男女名古屋大会

- ・会場：日本ガイシホール（愛知県名古屋市）
- ・日程：女子大会 5月30日（火）～6月4日（日）  
男子大会 6月6日（火）～6月11日（日）
- ・参加チーム：女子大会 ブラジル、ドミニカ共和国、ドイツ、中国、オランダ、ブルガリア、クロアチア、日本  
男子大会 フランス、ポーランド、イラン、ブルガリア、中国、スロベニア、セルビア、日本

### ■試合結果：【女子大会】

日付	試合結果	入場客数
5月30日(火)	日本 3-1 ドミニカ共和国 (25-23, 25-18, 22-25, 25-15)	1,861
6月2日(金)	日本 3-0 クロアチア (25-17, 25-19, 25-20)	2,970
6月3日(土)	日本 3-1 ブルガリア (25-20, 25-17, 25-19)	5,359
6月4日(日)	日本 0-3 中国 (18-25, 25-27, 25-27)	5,491

### ■試合結果：【男子大会】

日付	試合結果	入場客数
6月6日(火)	日本 3-0 イラン (25-16, 25-22, 25-19)	6,394
6月9日(金)	日本 3-1 セルビア (22-25, 25-21, 25-23, 25-20)	6,366
6月10日(土)	日本 3-0 ブルガリア (25-22, 25-21, 26-24)	6,425
6月11日(日)	日本 3-1 フランス (25-27, 25-22, 25-21, 25-20)	6,430

## 3) 2023 バレーボール女子日本代表紅白試合 ミズノマッチ（沖縄大会）

- ・会場：豊見城市民体育館（沖縄県豊見城市）
- ・日程：8月5日（土）、8月6日（日）

※台風6号の接近による影響のため開催中止

## 4) FIVB パリ五輪予選／ワールドカップバレー2023

- ・会場：国立代々木競技場 第一体育館

- ・日程：女子大会 9月16日(土)～9月24日(日)  
男子大会 9月30日(土)～10月8日(日)
- ・参加チーム：女子大会 日本、ブラジル、トルコ、ベルギー、ブルガリア  
プエルトリコ、アルゼンチン、ペルー  
男子大会 日本、アメリカ、スロベニア、セルビア、トルコ  
チュニジア、エジプト、フィンランド

■試合結果：【女子大会】

日付	試合結果	入場客数
9月16日(土)	日本 3-0 ペルー (25-9, 25-19, 25-15)	9,294
9月17日(日)	日本 3-0 アルゼンチン (25-18, 25-18, 25-23)	8,788
9月19日(火)	日本 3-0 プエルトリコ (25-23, 25-21, 25-13)	7,789
9月20日(水)	日本 3-0 ブルガリア (25-20, 25-13, 25-11)	7,862
9月22日(金)	日本 3-0 ベルギー (28-26, 25-18, 25-14)	9,807
9月23日(土)	日本 3-1 トルコ (25-22, 22-25, 24-26, 12-25)	10,250
9月24日(日)	日本 2-3 ブラジル (21-25, 25-22, 25-27, 25-15, 10-15)	10,213

■試合結果：【男子大会】

日付	試合結果	入場客数
9月30日(土)	日本 3-2 フィンランド (25-17, 25-15, 25-27, 19-25, 15-12)	10,227
10月1日(日)	日本 2-3 エジプト (25-14, 25-10, 23-25, 23-25, 13-15)	10,303
10月3日(火)	日本 3-0 チュニジア (25-14, 25-16, 25-15)	10,201
10月4日(水)	日本 3-0 トルコ (25-15, 25-20, 25-19)	10,247
10月6日(金)	日本 3-0 セルビア (28-17, 25-14, 25-22)	10,360
10月7日(土)	日本 3-0 スロベニア (25-21, 25-22, 25-18)	10,539
10月8日(日)	日本 2-3 アメリカ (19-25, 25-22, 25-19, 23-25, 12-15)	10,660

- ・最終順位：女子大会 1-トルコ、2-ブラジル、3-日本、4-プエルトリコ  
5-アルゼンチン、6-ベルギー、7-ブルガリア、8-ペルー  
男子大会 1-アメリカ、2-日本、3-スロベニア、4-トルコ  
5-セルビア、6-フィンランド、7-エジプト、8-チュニジア

(2) 国際貢献・交流事業

1) FIVB 及び AVC 役員等派遣事業

2023 年度の役員派遣はなし。

2) ボール寄贈事業 モンゴル：バレーボール 100 球、ボールトrolley 4 台

バングラデシュ：バレーボール 100 球



- 3) 国際移籍 (International Transfer Certificate)  
日本国内への Transfer 53 件、海外への Transfer 34 件

#### 4. 講習会開催事業、指導者、審判員等養成及び資格認定・登録事業

##### (1) 指導者養成・育成事業

※新規指導者資格受講希望者の養成

各種別の指導者を対象に以下の主な養成講習会及び研修会を開催した。

##### 1) JSP0 公認スポーツ指導者養成事業 (資格認定講習会)

###### ①コーチ4 専門科目講習会の開催

期 間：8月6日 (日) ～8月10日 (木)

場 所：明治学院大学・TKP品川カンファレンスセンター (東京都)

受講者数：22名

###### ②コーチ3 専門科目講習会の開催

期 間：8月6日 (日) ～8月9日 (水)

場 所：明治学院大学・TKP品川カンファレンスセンター (東京都)

受講者数：80名

###### ③コーチ2 専門科目講習会の開催

場 所：全国1会場 (三重県)

受講者数：22名

###### ④コーチ1 専門科目講習会の開催

場 所：全国27会場

(北海道・秋田県・山形県・茨城県・栃木県・埼玉県・千葉県・東京都・  
神奈川県・山梨県・新潟県・富山県・長野県・岐阜県・静岡県・愛知県・  
三重県・京都府・兵庫県・奈良県・和歌山県・鳥取県・岡山県・広島県・  
香川県・愛媛県・大分県)

受講者数：1,074 名

###### ⑤コーチ1 専門科目講習会の開催 (全日本大学連盟)

期 間：3月1日 (金) ・3月2日 (土) ・3月3日 (日)

場 所：日本体育大学 世田谷キャンパス (東京都)

受講者数：146名

⑥コーチ1 専門科目講習会の開催（日本クラブ連盟）

期 間：11月11日（土）・11月12日（土）・12月10日（日）

場 所：さいとぴあ（福岡県）

受講者数：66名

2) JVA 公認指導者の養成事業（日本小学生連盟）

①小学生指導者資格一次講習会の開催

場 所：全国5会場（宮城県・鹿児島県・大阪府・高知県・茨城県）

受講者数：456名

②小学生指導者資格二次講習会の開催

場 所：全国3会場（埼玉県・岩手県・山口県）

受講者数：143名

3) ソフトバレーボール指導者養成講習会・研修会の開催

①名誉マスターリーダー認定

2023年度認定者：2名

②マスターリーダー養成講習会の開催

期 間：6月24日（土）～6月25日（日）

場 所：フィットネス21 東淀川体育館

TKP新大阪ビジネスセンター（大阪府）

新規合格者：39名

更新受講者：6名

③アクティブリーダー養成講習会の開催

場 所：全国15会場

（富山県・東京都・静岡県・岐阜県・福島県・神奈川県・宮城県・

香川県・徳島県・宮崎県・福岡県・沖縄県・埼玉県・高知県・

岩手県）

受講者数：509名

④アクティブリーダー研修会の開催

場 所：全国39都道府県46会場

受講者数：1,173名（新規研修者：340名、更新研修者：833名）

4) JSP0 公認スポーツ指導者・JVA 公認指導者の養成講習会を開催するために  
講師の育成

①JVA公認講師認定講習会の開催

期 間：12月17日（日）

場 所：APアネックス品川（東京都）

認 定 者：18名

5) 指導者育成事業 ※資格保有者の資格更新研修会およびスキル向上研修会

①都道府県別研修会

場 所：全国17会場

（青森県・宮城県・茨城県・埼玉県・東京都・神奈川県・富山県・  
石川県・静岡県・岐阜県・三重県・滋賀県・京都府・大阪府・  
島根県・岡山県・佐賀県・熊本県）

受講者数：更新研修者：518名

②日本実業団連盟研修会

期 間：10月21日（土）～10月22日（日）

場 所：リコーインダストリー東北体育館（宮城県）

受講者数：27名（内更新研修者：11名）

③日本中体連研修会

場 所：全国10会場

（北海道・岩手県・東京都・群馬県・愛知県・石川県・大阪府・  
広島県・愛媛県・沖縄県）

受講者数：238名（内更新研修者：103名）

④全国私学連盟

場 所：全国3会場（宮城県・神奈川県・大阪府）

受講者数：31名（内更新研修者：26名）

6) ビーチバレーボール指導者研修会の開催

期 間：①1月21日（日）

②3月10日（日）

会 場：①公文国際学園中等部・高等部アリーナ（神奈川県）

②湘南ベルマーレひらつかビーチパーク（神奈川県）

参加者数：① 8名、②16名

## (2) 審判員養成・育成事業

国際大会における国際審判員の派遣および国内競技会の審判員派遣とともに、円滑な競技会運営のために、6人制・9人制・ビーチバレーボールの審判技術向上と審判員の養成・育成を目的に、主な事業を下記により開催した。また、令和5年5月8日に新型コロナウイルス感染症が5類感染症移行後、国内で開催された各種事業並びに競技会では、感染症拡大防止に努めながら、各種講習会・研修会では対面形式（一部オンライン併用）で実施した。

■審判員養成・育成事業		
①国際ショナルレフェリー技術強化事業		
②海外遠征派遣事業	8月29日～9月3日	高校選抜遠征（タイ他）に帯同
③ナショナルレフェリー技術強化事業		
～6人制～		
④関東・東海・関西大学男子1部リーグ	4月～5月 9月～10月	(春季) (秋季)
～9人制～		
⑤N2レフェリー技術強化事業	5～8月	各ブロックへの講師派遣
⑥9人制A級審判員技術強化事業	9月30日～10月1日 10月21日～22日 10月21日～22日	北信越（長野県） 関東（埼玉県） 中国（山口県）
⑦9人制レフェリー育成事業		2023年は実施せず
～ビーチバレーボール～		
⑧B2レフェリー技術強化事業	5～8月	各ブロックへの講師派遣
⑨ビーチバレーボールA級審判員技術強化事業	8月8日～10日	ビーチバレー ジャパン・カレッジ2023
⑩ビーチバレーボールレフェリー育成事業	7月21日～23日	全日本ビーチバレーボール U-23男女選抜優勝大会

## (3) 審判員資格認定事業

2008年度から適用されたMRS制度に基づいて、より多くのJVA登録会員の獲得を目指してきたが、近年では活動している審判員や国内派遣される審判員に限られる状

況の中、更新対象でないなどの理由から未登録の審判員が多く見られた。その後、審判規則委員会からの依頼に加えて、ブロック審判委員長や都道府県協会審判委員長からの働きかけなどもあり、新MRS制度に移行した2018年度のA級審判員の登録者数は510名（2017年度比68%程度）であったが、2022年度は740名（2017年度比94%）まで上昇し、2023年度は687名（2017年度比92%）であった。

## 5. 全国大会等国内競技会開催事業

### 【バレーボール】

#### (1) 天皇杯・皇后杯全日本バレーボール選手権大会

国内最高峰の大会として位置づけられている本大会は、例年4月からの都道府県ラウンドおよび9月からのブロックラウンドを経たチームとV. LEAGUEのD1・8チームを含め開催した。

##### ■ファイナルラウンド：(48チーム参加)

開催期間：12月8～10日（1回戦～準々決勝）[有観客]

12月16・17日（男女準決勝・決勝）[有観客]

開催地：東京都調布市 武蔵野の森総合スポーツプラザ  
東京都渋谷区 東京体育館

優勝：【男子】パナソニックパンサーズ（5大会連続5回目）

【女子】NECレッドロケッツ（2大会連続2回目）

来場者数：12/8 1回戦 1,613名

12/9 2回戦 3,719名

12/10 準々決勝 3,954名

12/16 準決勝 6,707名

12/17 女子決勝 4,780名

男子決勝 5,675名

#### (2) 全日本小学生大会（男女・混合大会）

アンバサダー（木村沙織さん）の起用やポスター制作など、よりJVAが伴走できる位置付けの大会となった。特に全国大会は夏休み中に開催されることもあり、宿泊旅費の高騰も重なって大会運営に関わる費用が増加した。

##### 1) 都道府県大会

- ・開催期間：4月～7月
- ・開催都市：各都道府県内体育館

##### 2) 全国大会（男子51チーム[543名]、女子51チーム[548名]、混合49チーム[532名]）

- ・開催期間：8月9日～12日

- ・開催都市：東京都渋谷区（東京体育館）、大田区（大田区総合体育館）、町田市（町田市立総合体育館）、神奈川県川崎市（カルッツかわさき）、千葉県千葉市（千葉公園総合体育館）
- ・優勝：【男子】山王（京都）  
【女子】小岩クラブ（東京）  
【混合】深川VBC（広島）

### （3）JOC カップ全国都道府県対抗中学大会

読売新聞と配信事業に取り組み、大会の周知を継続実施した。地域クラブ移行化の流れに伴い、予選会を含むエントリー確認（所属カテゴリー[中体連・ヤングクラブ]の二重登録問題）が煩雑になった側面もあった。

- ・開催期間：12月25～28日
- ・開催都市：大阪府（丸善インテックアリーナ大阪、エディオンアリーナ大阪、パナソニックアリーナ、大阪市立港スポーツセンター）
- ・優勝：【男子】福岡（5年ぶり7回目）  
【女子】大阪北（2年ぶり4回目）

### （4）全日本高等学校選手権大会

開催に向けて全国高体連専門部、東京都高体連および春高事務局と大会の運営について協議し、運用ルールを再構築した。

- ・開催期間：2024年1月4～8日
- ・開催都市：東京都渋谷区（東京体育館）
- ・優勝：【男子】駿台学園（2年連続3回目）  
【女子】就実（2年ぶり5回目）
- ・来場者数：1/4 1回戦 19,793名  
1/5 2回戦 15,145名  
1/6 3回戦・準々決勝 10,747名  
1/7 準決勝 9,391名  
1/8 決勝 10,387名

### （5）秩父宮賜杯・秩父宮妃賜杯全日本大学選手権大会

男女各64チームの参加を得て実施。

#### 1）秩父宮賜杯全日本大学選手権大会（男子）

- ・開催期間：11月27日～12月3日
- ・開催都市：東京都（大田区総合体育館・駒沢屋内競技場・エスフォルタ八王子・立

川市泉市民体育館)

- ・優 勝：【男子】早稲田大学（2年ぶり10回目）

2) 秩父宮妃賜杯全日本大学選手権大会（女子）

- ・開催期間：11月27日～12月3日
- ・開催都市：東京都（大田区総合体育館・立川市泉市民体育館・町田市立総合体育館）
- ・優 勝：【女子】筑波大学（4年ぶり9回目）
- ※参考 男女大会来場者数：12/2 準決勝 1,067名、 12/3 決勝 1,090名

(6) 上記の各競技会に加え、JVA主催、開催地都道府県協会等の主管により、以下の各種別全国大会を開催した。

大会名等	開催期間	開催都市
第9回全日本9人制バレーボールトップリーグ 女子レギュラーラウンド 女子セミファイナルラウンド 女子ファイナルラウンド 男子オープニングラウンド 男子ファイナルラウンド	6/2 7/15 8/5 10/7 12/15	三重県 伊勢市 石川県 金沢市
第75回全日本9人制実業団女子選手権大会 第76回全日本9人制実業団男子選手権大会	7/28～30 7/28～31	愛知県 一宮市
第42回全日本9人制クラブカップ女子選手権大会 第42回全日本9人制クラブカップ男子選手権大会	8/11～14 8/4～7	福岡県 福岡市 富山県 富山市
第22回全国社会人東ブロック男女優勝大会 第22回全国社会人西ブロック男女優勝大会	10/12～15 10/27～30	茨城県 日立市 高知県 高知市いの町
第92回全日本9人制総合女子選手権大会 第93回全日本9人制総合男子選手権大会	11/16～19	広島県 広島市 大阪府 大阪市
第14回全国6人制バレーボールリーグ 総合男女優勝大会（地域リーグ） （東西決勝リーグ） （グランドチャンピオンマッチ）	4～12月 2024年1～3月 2024年3月	全国 各地 全国 各地 和歌山県 和歌山市
第71回黒鷲旗全日本男女選抜優勝大会	5/1～6	大阪府 大阪市
第42回全日本6人制クラブカップ女子選手権大会 第42回全日本6人制クラブカップ男子選手権大会	8/11～14 8/11～13	和歌山県 和歌山市 大阪府 大阪市
第26回全国ヤングクラブ優勝大会	9/30、10/1	大阪府 門真市ほか
第12回全国ソフトバレースポレクフェスティバル 第25回全国ソフトバレーレディースフェスティバル	9/15～17 10/13～15	大分県 大分市 愛知県 江南市
第31回全国ソフトバレーシルバーフェスティバル 第8回全国ソフトバレー・フリーフェスティバル	10/6～8 11/11、12	青森県 弘前市 熊本県 八代市
第14回全国ヴィンテージ8's交流大会	10/6～8	北海道 函館市

(7) 公益財団法人日本スポーツ協会（JSP0）との共催により、以下の大会を開催した。

- 1) 特別国民体育大会バレーボール競技（6人制）

- ・日程：10/8～11
- ・開催都市：鹿児島県鹿児島市、鹿屋市、いちき串木野市

2) 第23回日本スポーツマスターズ2023

- ・日程：9/16～19
- ・開催都市：福井県福井市、越前市、鯖江市

(8) 公益財団法人全国高等学校体育連盟との共催により、以下の大会を開催した。

1) 全国高等学校総合体育大会女子バレーボール競技

- ・日程：8/1～5
- ・開催都市：北海道釧路市、釧路町

2) 全国高等学校総合体育大会男子バレーボール競技

- ・日程：8/7～11
- ・開催都市：北海道旭川市

3) 全国高等学校定時制・通信制大会

- ・日程：8/1～5
- ・開催都市：神奈川県平塚市

(9) 公益財団法人日本中学校体育連盟との共催により以下の大会を開催した。

1) 第53回全日本中学校バレーボール選手権大会

- ・日程：8/20～23
- ・開催都市：愛媛県松山市、伊予市

**【ビーチバレーボール】**

(1) ジャパンビーチバレーボールツアー2023

ジャパンビーチバレーボールツアー2023は当初の予定通り全10戦を実施。

- |           |                                   |
|-----------|-----------------------------------|
| 第1戦立川立飛大会 | 男子優勝：長谷川徳海・倉坂正人<br>女子優勝：坂本実憂・沢目繭  |
| 第2戦平塚大会   | 男子優勝：高橋巧・上場雄也<br>女子優勝：長谷川暁子・坂口由里香 |
| 第3戦渋谷大会   | 男子優勝：高橋巧・石島雄介<br>女子優勝：長谷川暁子・坂口由里香 |
| 第4戦横浜大会   | 男子優勝：高橋巧・石島雄介<br>女子優勝：長谷川暁子・坂口由里香 |
| 第5戦青森大会   | 男子優勝：長谷川徳海・倉坂正人                   |



	女子優勝：石井美樹・溝江明香
第6戦都城大会	男子優勝：高橋巧・石島雄介 女子優勝：柴麻美・丸山紗季
第7戦名古屋大会	男子優勝：高橋巧・石島雄介 女子優勝：長谷川暁子・坂口由里香
第8戦大阪大会	男子優勝：高橋巧・石島雄介 女子優勝：橋本涼加・村上礼華
第9戦松山大会	男子優勝：Ben0' Dea・Thomas Hartles 女子優勝：橋本涼加・村上礼華
第10戦須磨大会	男子優勝：高橋巧・石島雄介 女子優勝：柴麻美・丸山紗季

今シーズンも各大会会場にてSDGsに配慮した大会運営を実施。

- 1) 脱ペットボトル（マイボトル持参）
- 2) カーボンニュートラルマッチ開催（会場で使用する電力を全て水素カーや電気自動車から配給し二酸化炭素の排出ゼロを目指す）※名古屋大会のみテスト実施
- 3) 全会場にて選手スタッフによるクリーンアップ活動を実施
- 4) ゴミ箱設置の中止（自分が持ち込んだゴミは自分で持ち帰る）
- 5) デフビーチバレーボールの支援活動（各大会会場でデフビーチバレーの支援Tシャツ販売やデフ日本代表選手と健常者の選手による手話ショーを実施）
- 6) 地元の聾学校の子供たちに試合観戦招待とビーチバレーボール体験会を実施

## （2）第78回国民体育大会ビーチバレーボール競技

- ・日程：9月16日～19日
- ・開催都市：鹿児島県曽於郡大崎町

2020年に開催予定だった鹿児島国体はコロナを乗り越え、実に3年ぶりに開催され、全国から集まった高校生や関係者で賑わいを大盛況のうちに幕を閉じた。

大会運営に関しても試合コート面数が6面とかなり多かったにもかかわらず、以前からBVT2サテライト大会を開催していた事もあり、完璧な運営を行っていただいた。

- ・男子優勝：沖縄県（崎山翔生・田崎憲斗ペア）3回連続3度目の優勝
- ・女子優勝：東京都（宇都木乃愛・森愛唯ペア）4年ぶり2度目の優勝

## （3）日本選手権

大会名等	開催期間	開催都市
ビーチバレーボール・ジャパン・カレッジ2023 第35回全日本ビーチバレー大学男女選手権大会	8/8～10	神奈川県川崎市

第 22 回全日本ビーチバレーボールジュニア男子選手権大会	8/4～6	大阪府阪南市
‘23 マドンナカップ in 伊予市 ビーチバレーボールジャパン女子ジュニア選手権大会	8/11～13	愛媛県伊予市
第 37 回ビーチバレージャパン	8/11～13	神奈川県藤沢市
第 34 回全日本ビーチバレーボール女子選手権大会	8/18～20	大阪府泉南郡岬町
第 14 回全国中学生ビーチバレーボール大会	8/17～18	神奈川県藤沢市

◆第 35 回全日本ビーチバレーボール大学男女選手権大会

男子優勝：日本体育大学（富田昂馬・溝端拓真ペア）2 年ぶり 5 度目の優勝

女子優勝：産業能率大学（伊藤桜・野口彩陽ペア）4 年連続 9 度目の優勝

◆第 22 回全日本ビーチバレーボールジュニア男子選手権大会

優勝：東京都（高橋大地・稲垣喜一ペア）

◆ ‘23 マドンナカップ

優勝：徳島県（松岡梨亜来・鏡瀬里奈ペア）

◆第 37 回ビーチバレージャパン

優勝：黒川魁・福島晃介ペア

◆第 34 回全日本ビーチバレーボール女子選手権大会

優勝：松本恋・松本穂ペア

◆第 14 回全国中学生ビーチバレーボール大会

男子優勝：京都府フェルコンズ

女子優勝：浜の宮中学校

※各種全日本選手権では SDGs の観点からユニフォーム配布を中止とした。

#### （4） その他主要大会

大会名等	開催期間	開催都市
ビーチバレーボール NEXT2023 第 5 回全日本ビーチバレーボール U-23 男女選抜優勝大会	7/21～23	兵庫県明石市
2023 ビーチバレーボール・ルナカップ in 御宿 第 6 回大会（予定）	8/19～20	千葉県夷隅郡御宿町
第 15 回ビーチバレーボール川崎市長杯（予定）	10/7～8	神奈川県川崎市

◆第 5 回全日本ビーチバレーボール U-23 選抜優勝大会

男子優勝：神戸学院大学（山本隼輔・篠原颯汰ペア）

女子優勝：産業能率大学（伊藤桜・野口彩陽ペア）

◆2023 ビーチバレーボール・ルナカップ in 御宿

優勝：白鳥勝浩・永井雄太ペア

## ◆第15回ビーチバレーボール川崎市長杯

男子優勝：長谷川徳海・倉坂正人ペア

女子優勝：橋本涼加・村上礼華ペア

## 6. マーケティング事業

- 1) JVA の事業を安定的に運営すべく、暴力撤廃キャンペーンや国際大会における排出CO2計測など環境問題への取り組みなどを行った。
- 2) バレーボールの社会的な価値および JVA が所有する各種プロパティの価値を向上するためのプロモーション活動の結果として、パートナーシップ強化の観点で、2023年度の単年契約6社の内5社の継続、2社の新規契約を得ることが出来た。

## 7. 用具、用品等の公認事業及びその他の公認物品販売事業

### (1) バレーボール用品・用具の公認・推薦事業

競技の公正、安全ほか競技者が安心して楽しくプレーできるように、ボール、ネットほか用品・用具の公認・推薦の認定を行うとともに、競技者及び体育施設等へ、より良い用品・用具が提供されるよう、販売・製造事業者への働きかけを行った。

また、公認審判員やソフトバレーリーダーなどに対して、資格保有者としての自覚を促すため、公認物品の販売を通してその着用を推奨した。

### (2) ルールブック販売事業

バレーボールの愛好者、審判員、指導者をはじめとする多くの国民に対し、最新のルール情報を提供するために、公認ルールブックであるバレーボール6人制競技規則、同9人制競技規則、ソフトバレーボール競技規則、ビーチバレーボール競技規則を出版、販売した。

2023年度は、計40,789部（内訳：6人制20,980部、9人制12,291部、ソフト6,195部、ビーチ1,323部）を販売した。（昨年比△601部）

## 8. V. LEAGUE 開催及び開催支援事業

Vリーグ機構が主催、JVAが共催する「V. LEAGUE（大会）」においても、JVAはバレーボールの普及・振興に寄与する目的で、大会にジュリーと審判員の派遣を行い、V. LEAGUEの試合運営並びに開催支援を行った。また、V. LEAGUEと相互の連携を積極的に行い、バレーボールコンテンツにおける大会等のマーケティングやプロモーションを、それぞれの大会を通して共同で参画、実施した。

## 9. 収益事業

### (1) ファン向けサイトの運営事業

広くファン層にバレーボールの魅力を浸透させるため JVA ホームページとは別に、バレーボール日本代表オフィシャルファンサイト「バレともタウン」の充実を図り、JVA ならではの情報を SNS も交えながら発信。登録年度切替えタイミングである 3 月にはサイト名を「バレとも」に変更するなどのリニューアルも行った。

その結果、有料会員数は、9,490 名となり、昨年度の 3,262 名から 6,228 名の増加を実現した。

### (2) 肖像使用許諾事業

JVA 登録選手の肖像権等の管理運営を行い、肖像権使用料収入約 3,300 万円を得て、約 2,000 万円を肖像が使用された選手 78 名に配分した。

### (3) バレーボール関連グッズの販売事業

バレーボールの魅力を高め、「する・観る」人口の拡大に貢献するような商品の開発、販売を行った。ワールドカップバレーでは会場物販権利者であるフジテレビとの交渉により、本来権利のなかった会場における日本代表応援グッズの販売（事前オンライン予約販売を含む）を実現させ、合せて対予算比で約 9,800 万円の収入増、グッズ販売事業全体収支の対予算比で約 5,900 万円の利益増に貢献した。

## 10. その他

### (1) 加盟団体との連携強化

加盟団体と、国際大会や国内大会を含む JVA の各種事業において、相互のコミュニケーションを強化および運営サポートを行い、相互の協力体制を確立し協働で運営にあたった。

### (2) JVA メンバー制度登録管理システム (Membership Registration System)

経営基盤改革プロジェクトで協議し、JVA 中期計画にあわせた登録制度改革に向けて着地した。

### (3) 競技者拡大活動

競技者の更なる拡大・競技の継続に向け、“学校教育現場（小学生・中学生）におけるバレーボールプログラム”を展開し、今年度は以下の事業を実施した。

1) Vリーグ選手と一緒にバレーボール教室

	開催 都道府県	場所	開催日	人数	
				指導者	参加者
1	京都府	綾部市市民センター (日東精工アリーナ)	8月20日	6名	47名(経験有)
					6名(未経験)
					21名(保護者)
2	広島県	東広島運動公園体育館	2月10日	3名	40名(経験有)
					0名(未経験)
					29名(保護者)

2) 中学校ビギナー選手バレーボール大会推進

	開催ブロック	場所	開催日	参加チーム数
1	北海道 ブロック	札幌市立信濃中学校他	11月3日 11月12日 11月19日	女子：56チーム
2	東北 ブロック	宮城県多賀城市総合体育館	1月27日	女子：6チーム
3	関東 ブロック	茨城県筑西市立明野中学校 茨城県常総市立水海道西中学校	2月17日 2月24日	男子：10チーム 女子：16チーム
4	関東 ブロック	東京都内中学校& 練馬区光が丘第三中学校	1月28日 3月23日	男子：36チーム 女子：134チーム
5	東海 ブロック	岐阜県山県市総合体育館	12月24日	女子：20チーム
6	北信越 ブロック	富山県西部体育館	12月24日	女子：20チーム
7	近畿 ブロック	和歌山県紀の川市立粉河中学校	2月17日	男子：3チーム 女子：6チーム
8	中国 ブロック	島根県松江市立鹿島中学校 島根県松江市立湖北中学校	12月10日	女子：13チーム

3) 全国小中一貫バレーボール教室

開催希望が無かったため2023年度は未実施。

4) 幼稚園・保育園等でのソフトバレーボール（風船等）実践

	開催 都道府県	場所	開催日	参加人数	
				指導者	園児
1	栃木県	認定こども園七井幼稚園	12月26日	10名	30名
2	岐阜県	安八町中央こども園他 (大垣市、安八郡、羽島市)	2月18日	20名	48名

3	石川県	社会福祉法人あけぼのこども園	9月28日	5名	29名
4	奈良県	斑鳩町立 たった保育園	10月20日	3名	24名
5	島根県	雲南市立大東保育園	11月25日	12名	9名
6	高知県	香南市立野市保育園	1月29日	7名	57名

5) アンダー10大会促進

	開催 都道府県	場所	開催日	参加人数
1	北海道	クラーク記念国際高等学校 元気の泉キャンパス	8月4日～ 6日	男子：57名 女子：127名 混合：118名 合計：302名
2	青森県	三沢市国際交流スポーツ センター	12月10日	男子：16名 女子：71名 混合：81名 合計：168名
3	岩手県	八幡平市総合運動公園体育館	9月9日～ 10日	男子：37名 女子：124名 混合：64名 合計：225名
4	宮城県	加美町陶芸の里スポーツ公園 総合体育館	9月10日	男子：42名 女子：144名 混合：164名 合計：350名
5	山形県	山形市総合スポーツセンター	9月18日	男子：57名 女子：52名 混合：73名 合計：182名
6	福島県	あいづ総合体育館他	9月17日	男子：40名 女子：135名 混合：235名 合計：410名
7	群馬県	大泉町民体育館他	7月9日	男子：35名 女子：172名 混合：170名 合計：377名
8	茨城県	石岡市運動公園体育館 小川南小学校体育館他	11月23日	男子：38名 女子：270名 混合：80名 合計：388名

9	東京都	太子堂小学校体育館他	7月23日 7月29日 7月30日	男子：500名 女子：850名 混合：880名 合計：2,230名
10	山梨県	笛吸市境川スポーツセンター体育館他	9月18日	男子：48名 女子：174名 混合：198名 合計：420名
11	静岡県	島田市総合スポーツセンター	8月12日	男子：26名 女子：13名 混合：32名 合計：71名
12	三重県	津市安濃総合公園内 総合体育館	10月9日	男子：34名 女子：164名 混合：158名 合計：356名
13	福井県	勝山市体育館	9月23日	男子：45名 女子：121名 混合：119名 合計：225名
14	滋賀県	守山市民体育館	10月14日	男子：15名 女子：67名 混合：100名 合計：182名
15	大阪府	いきいきランド交野	9月18日	男子：12名 女子：20名 混合：188名 合計：220名
16	奈良県	田原本町中央体育館	12月23日	男子：20名 女子：53名 混合：57名 合計：130名
17	岡山県	瀬戸町総合運動公園体育館他	9月10日	男子：47名 女子：207名 混合：171名 合計：425名
18	山口県	キンビバレッジ周南総合 スポーツセンター	6月18日	混合：27名
19	高知県	芸西憩ヶ丘体育館	12月10日	男子：75名 女子：167名 合計：242名
20	福岡県	中間市体育文化センター 中間西小学校体育館	10月1日	男子：96名 女子：123名 混合：36名

				合計：255名
21	佐賀県	佐賀県内8地区会場 (鳥栖三神、小城多久、杵武)	10月28日～ 11月25日	男子：115名 女子：335名 混合：155名 合計：605名
22	長崎県	佐世保市東部スポーツ広場 体育館他	12月23日	男子：100名 女子：220名 混合：150名 合計：470名
23	熊本県	旭志体育館	10月14日～ 15日	男子：95名 女子：218名 混合：177名 合計：480名
24	大分県	大分市立寒田小学校体育館他	9月10日	男子：24名 女子：57名 混合：54名 合計：135名
25	鹿児島県	霧島市牧園アリーナ	11月25日	男子：119名 女子：89名 混合：242名 合計：450名
26	沖縄県	21世紀の森体育館	7月29日～ 30日	男子：180名 女子：490名 混合：340名 合計：1,010名

#### (4) 競技の高潔性を保ちアンチ・ドーピングを遵守する。

- 1) 公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構(JADA)との連携により、JADAが定める講習会も受講と対象大会においてドーピング検査の実施や教育・啓発活動を推進した。
- 2) 本会のアンチ・ドーピング委員会委員に講師資格(JADA認定)を取得いただき、日本代表選手(シニア・ユニバ・ジュニア・ユースの候補選手含む)やトップリーグの選手・チームスタッフに対して講習会を実施し、バレーボール界におけるドーピング知識の浸透を図った。

以上